

1年目で基本の研修を、2年目は希望に応じ各診療科を学ぶことができるプログラム

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

09 KUMAMOTO ROUSAI HOSPITAL

県南の公的中核病院として 救急医療、地域医療の要で学ぶ

当院は、災害拠点病院(熊本DMAT指定病院)・地域がん診療連携拠点病院(国指定)・地域医療支援病院等に指定されている県南の公的中核病院です。年間約4,000台の救急車を受け入れ、救急医療をはじめ地域医療に積極的に取り組んでいます。病院の増改築で医局も新しくなり、ICUやヘリポートの設置など、更に救急医療に力を入れております。その中で、約80名の常勤医で(1年目2年目合せて)約20名の研修医の指導を行っています。



2017年度病院実績

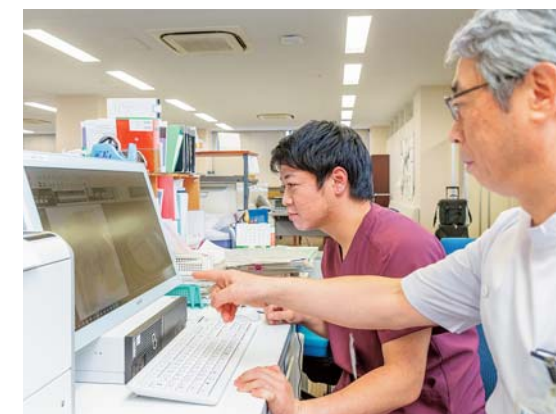


“ 指導熱心な上級医が多い病院！
診療科を選択しながら
学べる自由度も魅力 ”



Interview
研修医 高木 寛
HIROSHI TAKAKI
年数 / 臨床研修医1年目
出身大学 / 長崎大学
出身地 / 熊本県熊本市

大学は県外へ進学しましたが、将来は熊本で働こうと、県内の病院を数カ所見学しました。魅力的な病院ばかりでしたが、特に「熊本労災病院」は上級医の指導の熱心さと、研修医の生き生きとした働きぶりに惹かれました。医局の温かい雰囲気も魅力で、ここでの研修を希望しました。当院では、研修1年目に6カ月間、内科系をローテートした後は、自分で診療科を選択しながら学ぶことができます。診療科が多く、県南広域から様々な症例が集まるので、偏りなく学べる環境です。実践第一で、特に救急外来では研修医が主体となるため、刺激を受けながら学ぶ毎日です。ある時、救急外来で初診にあたった重篤な患者さんが入院し、担当医として診療しました。自分で検査オーダーを出したり、ご家族とも話しながら、数週間後には自力で歩いて退院できるまで回復。救急搬送時から退院まで全て診ることができた貴重な経験でしたが、退院後「元気にしています」とお手紙をいただいたことも嬉しかったです。患者様は同じ病態であっても一人一人のバックグラウンドは違うもの。「病氣」を診るのではなく「病人」を診ることの大切さを実感しました。上級医の先生方のフィードバックも手厚く、水曜朝に行われる研修医講義で専門性の高い学びも受けられます。当直も準夜勤なので、消化不良に陥ることなく自分のペースで学べると思います。「自分が何をしたいか」を探しながら研修したい人には、ぜひおすすめしたい病院です。



熊本労災病院
副院長・整形外科部長
池田 天史
Takashi Ikeda

●指導医からのコメント
当院では研修医室が総合医局内に設置され、週1回の研修医朝講義や、月1回のカツカレーの会(症例発表・交流会)、スポーツ部活動など、上級医と交流しやすい環境が整っています。研修の自由度も高く、「何を与えられるか」ではなく「何をしたいか」と能動的に考え、取り組む姿勢を重視しています。

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次: 診察科目/内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー検査		消化器内視鏡検査	腹部エコー検査	呼吸器内科・放射線カンファレンス 消化器内視鏡検査
午後	内科カンファレンス	気管支鏡検査 呼吸器内科カンファレンス	HCCカンファレンス	呼吸器回診 消化器内科・外科カンファレンス	気管支鏡検査

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科						救急※1			選択必修		
場所	熊本労災病院											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	地域	選択自由										
場所	小国公立病院など	熊本労災病院										

※1「救急」分野では、外科・麻酔科・整形外科の中から選択可能。

後期研修

内科においては、臓器疾患別の臨床研修、外科・救急においては麻酔科分野の研修も併せて行うことができる。また、当院の特色でもある勤労者医療、産業医活動、職業別疾患医療についても学ぶことができる。なお、臨床研修の目標として、病院診療に関する基礎知識を習得し、医療の知識及び技術能力向上を養い、総合的診断能力の習得を目指すこと。また、医師としての社会的使命に理解を深め人間の生命に関わる倫理、医療者としての人格の検証及び成長を掲げている。

基本的知識を理解し、病歴聴取・ 身体診察・基本手技を実施

内科においては、総合内科として6か月間の研修、外科・救急においては麻酔科分野の研修も併せてでき、勤労者医療・産業医活動、職業別疾患医療の研修も学ぶことが出来ます。研修の途中で希望により変更も可能です。

臨床医としての基本的知識を理解し、病歴聴取・身体診察・基本手技が実施できます。救急初期対応としてのABC、蘇生、縫合結紮、中心静脈確保が行え、上部消化管内視鏡検査、気管支鏡検査、超音波検査が行えます。

また、2年目で協力施設である横浜労災病院の救命センターで三次救急を学ぶことも可能です。(選択自由にて1月～2月)



病院概要 (2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



DOCTOR	医師数 79名	INTERN	研修医数 13名	ADVISOR	指導医数 34名	SICKBED	病床数 410床
--------	------------	--------	-------------	---------	-------------	---------	-------------

標榜科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・代謝内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

専門医

内科6名、呼吸器内科5名、消化器内科5名、神経内科1名、糖尿病・代謝内科2名、循環器内科4名、小児科3名、外科11名、整形外科7名、形成外科2名、脳神経外科1名、心臓血管外科2名、皮膚科1名、泌尿器科2名、産婦人科2名、眼科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科3名、麻酔科4名、病理診断科1名

指導医

内科1名、呼吸器内科1名、消化器内科1名、神経内科1名、糖尿病・代謝内科2名、循環器内科1名、小児科1名、消化器外科1名、乳腺外科1名、呼吸器外科1名、小児外科1名、胸部外科1名、心臓血管外科1名、整形外科2名、脳神経外科1名、産婦人科2名、泌尿器科1名、耳鼻咽喉科1名、放射線科2名、病理診断科1名



研修医募集要項

応募資格	2019年度医師国家資格受験予定者	所在地	〒866-8533 熊本県八代市竹原町1670
応募締切	2019年8月中旬～下旬(予定)	担当部署	総務課/田中
試験日程	2019年8月下旬(予定)	TEL	0965-33-4151
試験内容	面接試験	FAX	0965-32-4405
給料	1年次 月額/約443,000円(総支給額) 2年次 月額/約456,000円(総支給額)	E-mail	shomu@kumamotoh.johas.go.jp
年次有給休暇	有、年次有給休暇20日、夏季休暇、年末年始休暇	URL	www.kumamotoh.johas.go.jp
宿舎	有(1DK)		
加入する保険等	各種社会保険、厚生年金基金、財形貯蓄		
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)		
当直の回数	2回/月程度		

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
kumamotoh.johas.go.jp/
recruit/r-resident/

